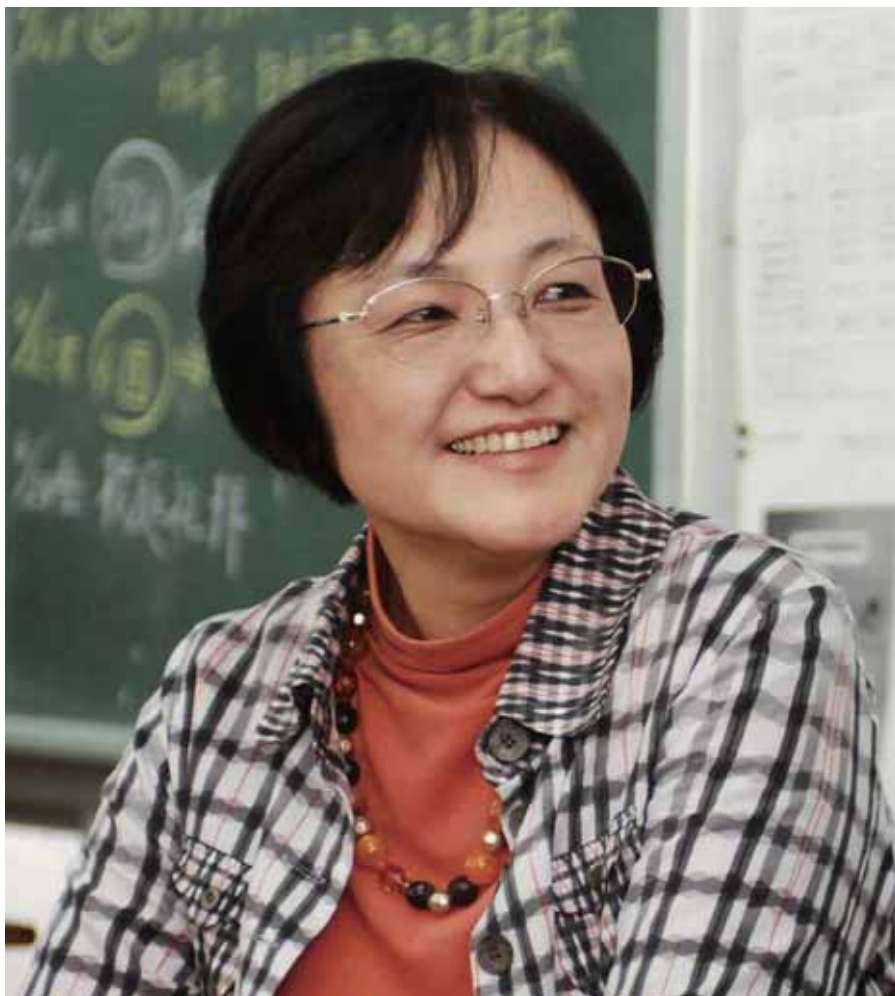


CLOSE UP

クローズアップ

「本物は物語る。自分の五感を研ぎ澄まして真実をつかんでほしい」とペンクラブや恵愛祭でのクラスの生徒達の活動を積極的に指導される若山先生。自分自身で見聞きし、真実を探る力を身につけてもらいたいと願い、さまざまなテーマに取り組む生徒達を優しく、頼もしく指導しておられます。



■ 金城学院中学校

若山 直子 教諭

■ 高校3年生のとき受洗。1979年金城学院大学文学部卒業。1980年に金城学院高等学校非常勤講師となり、1982年より金城学院高等学校専任教員を務める。1990年より金城学院中学校専任教員。1994年より再び金城学院高等学校専任教員となり、2003年より金城学院中学専任教員、現在に至る。

現地を訪れ真実を探る ペンクラブの活動

授業や担任以外の仕事として、私は中学、高校の文化部であるペンクラブの顧問を務めています。ペンクラブが発足したのは今から約22年前の1987年のことでした。当時担任をしていた高校1年Iクラスの生徒達に、実際に訪れて見聞きしてきたフィリピンの社会問題や、旧ソ連の経済事情などについていろいろと話をしたところ、クラス解散時に生徒達のほうから「先生とちょっと一緒にいろいろな問題を考えたい」との声が上がったのです。そこでさっそくペンクラブを発足。当初はIクラスの生徒ばかりでしたがその後輪が広がり、現在は中学から高校まで約30人の生徒達が所属し、一緒に活動を行っています。

ペンクラブではテーマを決めて取材をし、恵愛祭や機関誌などで発表する活動を行っています。

その中で私はいつも生徒達に「本物は物語る。自分の五感を研ぎ澄ませ、真実をつかみとってください」と教えています。まず現地

に行き、自分の目で見聞きして真実を探ることが大切。また一方からだけではなく、相反する側の取材もすることも重要だと教えています。実際に生徒達は毎年夏の合宿で防衛省や平和委員会、皇居などさまざまな場所に行き、取材をします。浪速部落で取材をした時は学芸員の方から話を聞くことができ、「人権問題をより深く知ることができた」と生徒達にとっても大変勉強になりました。また名古屋地方裁判所で傍聴した生徒からは「テレビではなく本当に見ることでより現場の緊迫感が伝わった」との声も上がりました。「自分一人では知り得ないことも、み



常に自分自身で本物を見て聞いて 真実をつかんでほしいと思います



皇室典範について調べたペンクラブ高校部長
林夢乃さん



中学旧3Hクラスで「焦土日本」をテーマにビデオ
メッセージを作った橋口未祐さん



中学旧3Gで、731部隊について取材した安田記子
さん(左端)、いじめ劇を制作した酒井美紗子さん
(中央)、大河内清輝君のお父様にインタビューをし
た桑山祥子さん(右端)

またある生徒達は731部隊旧隊員のご子息である神谷則明さんに取材をしたりと頑張りました。「実際にいじめでお子さんを失ったお父さんの話を聞くことで、より深いいじめ問題について知ることができた」「731部隊の話聞いてショックを受けた。日本人が犯した過ちを踏まえてこれからどうするかを考えさせられた」など生徒達の思いもさまざまだったようです。恵愛祭で見ていただいた皆様からも評価をいただき、私にとっても生徒達にとっても大変素晴らしい思い出となりました。

私は「種を蒔き、芽が花開くのを待ち応援する」ことを教育の信念としています。クラスでもペンクラブでも生徒達の積極的な活動を応援し、生徒達とともに今後も多くの感動を共有できたらと思っています。

年に一度の恵愛祭に向けて クラスでも活動をサポート

ペンクラブだけではなく、担任するクラスでも恵愛祭に向けてこうした活動は毎年行っています。'06年の中学3Hクラスでは「焦土日本」と題し、生徒達自身で戦争について調べ、編集し映像まで作りしました。夏休みを返上し、愛知の戦跡めぐりや映像作りに没頭する生徒達の姿はとても素晴らしく、私自身も深く感動させられました。「あいち平和のための戦争展」にも総合の時間で制作した「平和新聞」を展示し、そのスタッフとしてクラスのほとんどの生徒が働きました。「自分たちで調べるのは大変だったけど、みんなで一生懸命やって楽しかった」という声を聞いてうれしく思いました。また'07年の中学3Gクラスは「Hey和!クラスから世界へ」と題し、ある生徒達はいじめをテーマに大河内清輝さんのお父様へのインタビューやいじめの劇を制作。



中学旧2Bで環境問題をテーマに「南区公害患者と家族の会」にインタビューをした前田明香さん



左: 国会を取材したペンクラブ中学部長、
平井花奈さん
右: 名古屋地方裁判所で傍聴した中学副部長、
水野令菜さん

んなで現地を訪れて当事者から話を聞くことによって興味を持った」という言葉を聞くと、本当にうれしく思います。繰り返しになりますが、自分の五感を信じて、本物が物語る真実をつかみとってほしいと願っています。

若山先生はどんな人!?

ペンクラブの部員や以前若山先生のクラスの一員として恵愛祭で活躍した生徒達に、若山先生はどんな人かをたずねました。すると「優しくて素敵」「厳しいところもあるけれど、頼りがいがある」「何事にも一生懸命取り組む」など、先生の優しく頼もしい人柄を語る声が多く聞かれました。また以前担任されていた中学3Hクラスの生徒からは「3Hは先生あつてのクラス。最後にみんなで大泣きした」という声も。若山先生は生徒達に大変慕われているようです。